

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年2月13日

東

上場会社名 福留ハム株式会社

上場取引所

コード番号 2291

URL <http://www.fukutome.com/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福原 治彦

問合せ先責任者(役職名) 経営管理本部長

(氏名) 梶原 勝

(TEL) 082-278-6161

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	19,173	△2.2	△328	—	△301	—	△321	—
2024年3月期第3四半期	19,612	2.2	△171	—	△144	—	330	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △259百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 231百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△96.50	—
2024年3月期第3四半期	99.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	13,599	2,109	15.5
2024年3月期	13,567	2,369	17.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 2,108百万円 2024年3月期 2,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,200	0.0	△520	—	△490	—	△520	—	△155.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	3,400,000株	2024年3月期	3,400,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	63,344株	2024年3月期	63,232株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	3,336,738株	2024年3月期3Q	3,336,875株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得の改善ならびにインバウンド需要拡大により緩やかな景気回復傾向となりました。その一方で、為替の円安継続、賃上げ以上に進む物価上昇、各業界での人手不足問題、そして国際情勢不安の深刻化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、原材料費やエネルギーコスト、物流コストなどの上昇が企業収益を圧迫しており、景気の先行き不安からくる消費者の低価格・節約志向は一層厳しさを増し、競合他社との価格競争の激化や人手不足等による労働コストの上昇などの影響により、依然として厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、成長戦略構築と収益体質改善を最優先課題と位置づけ、ハムソーセージ、デリカ商品の「競争力の強化」、生産性向上と営業力強化による「生産量・販売量の拡大」、業務改革ならびにシステム化推進による「収益構造改革」、企業理念再構築と組織改編による「組織力強化」の4点に取り組み、収益体質の強化と企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、191億73百万円(前年同四半期比2.2%減)となりました。利益につきましては、営業損失は3億28百万円(前年同四半期は営業損失1億71百万円)、経常損失は3億1百万円(前年同四半期は経常損失1億44百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億21百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益3億30百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

加工食品事業

加工食品事業につきましては、消費者の節約志向は根強く、前年度からの価格改正による量販店向け主力商品の販売量が落ち込むなど売上高は減少しました。利益につきましても、原価圧縮や生産性向上に努めたものの、販売量が想定以上に減少し、前年同四半期を下回りました。

その結果、売上高は79億12百万円(前年同四半期比7.4%減)、セグメント利益(営業利益)は1億91百万円(前年同四半期比30.2%減)となりました。

食肉事業

食肉事業につきましては、輸入牛肉・輸入豚肉が引き続き高値で推移したため、輸入商材の代替品として経産牛やホルス切り落としなどが堅調に推移いたしました。また、国内豚肉相場が安定しつつあること、消費者の節約志向上昇により安価な鶏肉の需要が高まったことから、豚肉・鶏肉の販売拡大に取り組み、食肉事業全体の売上高は前年同四半期を上回りました。一方、利益につきましては、円安による輸入商品の仕入れコスト上昇ならびに物流コスト上昇の価格転嫁が十分に実行できなかったことと、年末における和牛・交雑牛の仕入価格高騰により、前年同四半期を下回りました。

その結果、売上高は112億60百万円(前年同四半期比1.7%増)、セグメント損失(営業損失)は85百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)26百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ32百万円増加の135億99百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ57百万円減少の68億5百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金7億20百万円、商品及び製品1億21百万円の増加と現金及び預金9億51百万円の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ89百万円増加の67億93百万円となりました。主な要因は、投資有価証券1億3百万円、リース資産67百万円の増加と建物及び構築物40百万円、機械装置及び運搬具61百万円の減少によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億91百万円増加の114億89百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ4億66百万円増加の79億95百万円となりました。主な要因は、短期借入金5億円の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億74百万円減少の34億94百万円となりました。主な要因は、その他固定負債76百万円の増加と長期借入金2億65百万円の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億59百万円減少の21億9百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金63百万円の増加と利益剰余金3億21百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年11月12日に公表いたしました業績予想の変更はしておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、重要な営業損失を計上及び、2期連続となる営業活動によるキャッシュ・フローのマイナスを計上し、当第3四半期連結累計期間においても営業損失を計上したことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

しかしながら、当社グループは、当該状況を解消するために、「成長戦略構築」と「収益体質改善」を最重要課題として、以下の4点に取り組んでまいります。

I. ハムソーセージ、デリカ商品の「競争力の強化」

当連結会計年度の下期以降においては、消費者ニーズにマッチしたウインナー新商品の開発強化ならびにハンバーグ他のデリカ商品の商品拡充に努め、消費者から選ばれ続ける商品づくりと新たな価値創造による競争力強化に取り組んでまいります。

II. 生産性向上と営業力強化による「生産量・販売量の拡大」

加工品製造部門と営業部門の製販連携を更に強化し、重点商品を明確にした付加価値の高い商品の生産・販売への集中と拡大に取り組んでまいります。

III. 業務改革ならびにシステム化推進による「収益構造改革」

基幹システム刷新による効率化・省力化に取り組みつつ、業務改革として製造原価ならびに販売管理費低減を図り、収益構造を大きく改善してまいります。

IV. 企業理念再構築と組織改編による「組織力強化」

加工カンパニーとエリアカンパニーの連携強化とセグメント別一気通貫での採算管理をより機能強化させ、採算性向上・収益力改善に努めてまいります。

また、現金及び預金、短期間に資金化可能な投資有価証券、取引金融機関との当座貸越契約の未実行残高等の資金余力を十分確保しております。今後も機動的に資金調達を行っていくことで、当面の間の運転資金及び投資資金が十分に賄える状況にあることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,684	1,732
受取手形及び売掛金	2,925	3,646
商品及び製品	909	1,030
仕掛品	34	26
原材料及び貯蔵品	301	318
その他	28	54
貸倒引当金	△20	△2
流動資産合計	6,863	6,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,992	1,952
機械装置及び運搬具（純額）	698	637
土地	1,760	1,760
リース資産（純額）	53	121
建設仮勘定	19	46
その他	44	44
有形固定資産合計	4,569	4,563
無形固定資産	79	82
投資その他の資産		
投資有価証券	1,855	1,959
その他	296	295
貸倒引当金	△96	△105
投資その他の資産合計	2,055	2,148
固定資産合計	6,704	6,793
資産合計	13,567	13,599

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,314	2,344
短期借入金	4,253	4,753
未払法人税等	55	14
賞与引当金	153	76
その他	751	806
流動負債合計	7,529	7,995
固定負債		
長期借入金	1,626	1,360
退職給付に係る負債	1,423	1,437
長期末払金	328	328
その他	290	367
固定負債合計	3,669	3,494
負債合計	11,198	11,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503
利益剰余金	△2,301	△2,623
自己株式	△81	△81
株主資本合計	1,812	1,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	542	605
退職給付に係る調整累計額	13	11
その他の包括利益累計額合計	555	617
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,369	2,109
負債純資産合計	13,567	13,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	19,612	19,173
売上原価	16,534	16,320
売上総利益	3,078	2,852
販売費及び一般管理費	3,249	3,181
営業損失(△)	△171	△328
営業外収益		
受取利息及び配当金	41	43
不動産賃貸料	42	12
その他	20	34
営業外収益合計	104	90
営業外費用		
支払利息	52	51
不動産賃貸費用	25	-
その他	0	11
営業外費用合計	78	63
経常損失(△)	△144	△301
特別利益		
投資有価証券売却益	535	-
特別利益合計	535	-
特別損失		
固定資産売却損	11	-
特別損失合計	11	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	378	△301
法人税、住民税及び事業税	48	20
法人税等合計	48	20
四半期純利益又は四半期純損失(△)	330	△321
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	330	△321

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	330	△321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	63
退職給付に係る調整額	4	△1
その他の包括利益合計	△98	62
四半期包括利益	231	△259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	231	△259
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	8,543	11,069	19,612
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,543	11,069	19,612
セグメント利益又は損失(△)	274	△26	248

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	248
全社費用(注)	△419
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△171

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	7,912	11,260	19,173
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	7,912	11,260	19,173
セグメント利益又は損失(△)	191	△85	106

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	106
全社費用(注)	△434
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△328

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	316百万円	305百万円